

パンタール通信

南北米福地開発協会

会報

2009年5月1日

68号



レダ基地内にある支流岸边でゴマ刈り入れ作業、すぐ右側には既に支流の水草が迫って来ている。

支流岸边に播いた

ゴマの収穫

十二月に第三農園前の
水位がひいて現れた
支流岸边の柔らかい土
地にゴマの種を蒔き、
四か月で見事な収穫の
時期を迎えた。再び水
位が上がって来ている
ため、水没する前に刈
り入れが急がれていた
が、三月三十日一斉に
刈り取りが行われた。

幅10m×長さ50mほ
どの範囲に実験的に生
育され、耕しも草取り
も施肥も、消毒も一切
何もしないまま自然のま
まに放置されてきたが、
負けずに立派に育った。

今まで苦労して農場開墾
をしてきた立場とは
全く異なる試みで
あり、トラック

二台分程の収
穫には中田所
長も感動して
いた。

これぞパンタ
ール農法と
して、また大
きな希望が生
まれました。

(レダより

飯野氏報告)



これがレダの支流産ゴマ、これを干して乾燥し、叩いて実を取り出す。



収穫したゴマを抱いて大山先生
(左から二番目)と喜びの労働者たち



訪れた白い小鳥



1 m程の雑草も刈り取られ、綺麗になったモリンガ林



モリンガ林の成長
 最近のモリンガの木は二年を経てすっかりと幹が太く硬く成長し、背丈は高くなり過ぎないよう剪定しています。絶えず小鳥たちの憩いの園となっています。オウムや黒鳥、カージナルなど、沢山の種類の小鳥が楽しんでいゝる中で、何と言つても一際目立つのが、女王様のような気品のある白い小鳥です。



グレイプフルーツ最盛期の喜び
 三月、四月は、グレイプフルーツ収穫の最盛期です。果樹園、植樹園でも育っています。沢山の木々で豊かな美味しい実を成らせています。鳥害にも逢わないため、その収穫に植樹園担当の大滝先生もうれしい悲鳴を上げています。ジューズとしても好評です。先日は労働者四十五名の全員にGFが配られ喜ばれました。GFの植樹を提供して下さった方々に送つてあげられないのが残念です。この時期にレダに直接来られれば木からもうで直接新鮮な果実を賞味して頂くことができます。



ボラーチョの花
 三月から四月上旬がボラーチョの花の美しい季節です。ピンク色の百合の花のような形をしたボラーチョの花は、第一給水塔前に三本並んで順番に咲いています。



第一植樹園、いずれも4年たちどの木も実を成らせている。





屋根工事進む

本部ビル（三階建て）の屋根工事が進んでいる。屋根を載せるための梁を支えるレンガ積み作業から始まって、既に梁と屋根の骨組が取り付け始められた。順調に進展しているため、請負のトマス社長も、「このまま行けば、工期2か月の予定が少し早く仕上がるのではないかと語っていた。

チームは工事担当責任者のグスタボ氏の親族で固められているので、息の合った作業場が展開している。屋根の骨組み作業が三月三十一日現在半分終わった。



大東宏農学博士と伊達氏

三月三十一日、レダの農業研究員、伊達氏とともに筑波に住む大東先生を訪ね、ニームの栽培、ならびにニームを用いての製品化についてお話を伺いました。

一週間ほど前にケニアの農業指導から帰ったばかりで、ケニアでは特にニームの普及に力を注いで来られたとのことでした。

今まで世界一九か国で特に熱帯果樹の指導に当たり、ブラジルにも三年間滞在していた事もある。

現在はニームの樹の可能性に魅了され、奇跡の樹、ニームと題する本を昨年、出版し、普及に努めている。ケニアでは十二の村でニームの植林を行い、ニームを利用するの農業指導をして来たところで、とても参考になった。



250年前にインドから持ってきた種の樹
(ケニア)



ケニアでニームから造られた製品（石鹸、ハンドクリーム、シャンプー）

大東先生が書いた本“世界が注目するニーム、奇跡の樹”が農林統計出版社から昨年6月に出版されました。

114ページのコンパクトな本ですが内容は充実しており、実践を下にした貴重な内容で、参考になります。

今後、パラグアイにニームの植林をしそれを下に貧しい村に産業が起こればと南北米福地協会にて推進しています。

第九回国際協力青年奉仕隊 参加者募集中!

期間 ○九年八月二十五日
九月十日

活動地域 パラグアイ国
レダ近郊

活動内容 インディヒナ村
植林、文化交流、エコツアー

参加資格 一八歳―二五歳

参加条件 小論文

(参加の動機及び将来の夢)

応募人数 八名

参加費用 十五万円



青年奉仕隊の活動は皆様の支援で行われて来ましたが、第九回青年奉仕隊も皆さまの温かい支援でなされます。左記の口座に本年もよろしく

お願いします。

本年は一昨年、昨年と行ってきた植林活動が、レダ近郊のインディヒナの村で行います。木が順調に育ち、村の人々に希望を与え、温暖化防止にも貢献しております。

郵便口座

一〇一八〇一七七六八〇四七一

代表 柴沼邦彦

支援のお願い

ご家庭に眠っている未使用の切手、はがき、印紙などがありましたら事務局に送ってください。

第八回国際協力青年奉仕隊参加者

山田和泉

一日一日が充実していて、あつというまに過ぎていっています。

全てが初めての事ばかりで、今までの自分が本当に狭い世界で生きていた事を感じています。いろいろなことにチャレンジしていく姿勢、今日、中田先生がおっしゃっていた事が、自分に必要な事だと思いました。

神様の願いであるから、できないと思うのではなく、できると思つてチャレンジしていく、私がここに来る時にいただいた思いと一緒に、その決意の大きさは、開拓に來られた先生方とは比べ物にならないですが、これからも絶対に忘れてはならない姿勢だと思いました。

レダに着いたとき、あまりの素晴らしさに本当に感動しました。そして、先生方のいろいろなお話を聞いているうちに、その背後に大きな決意と、多くの苦労があったことも知りました。

絶対に私達、青年が相続していかななくてはいけない神様の願いを大きく感じました。

あとは、やはりエスペランサ村での活動が忘れられないものになりました。

地球の裏側に家族がいました。たった三泊四日という期間で、しかも言葉も通じない状況で、離れたくないという思いが強く湧いてきて、もっと愛したいというよりは、これからも距離は離れているけれど、愛していく方法があるのではないかと思います。

具体的にはまだ何をしたら良いのか分からないですが、とにかくここでのことを周りの人に伝えてゆきたいと思うので、残りの期間も1分1秒無駄にすることなく多くの事を吸収していきたいと思っています。

第九回国際協力青年奉仕隊への参加希望者は事務局に連絡し、所定の書類を受け取ってください。五月末までに参加希望者の小論文と履歴、そして紹介者の推薦文を添えて事務局に送ってください。

六月十五日に参加者の発表を致します。

ピースライフセミナーの開催案内

日程 五月四日、五日

場所 川崎市民プラザ

参加人数が会場の関係で五十名ですので参加希望者は早めに事務局に

申し込みください。

南北米福地開発協会六月度の予定

環境セミナー

六月二十一日 南北米事務局にて

午後二時より

(費用 二千円資料代含む)

南北米福地開発協会 事務局

〒二一三〇〇〇一

神奈川県川崎市高津区

溝口二一十一番十五

岩崎ビル四F

電話 〇四四一八二九一二八二二

Fax 八二九一二八二〇

会費納入 郵便口座

一〇一八 〇一七七六八〇四七一

代表 柴沼邦彦

E-MAIL office@asd-nsa.jp

ホームページ

http://www.asd-nsa.jp